

<米ドル（年2回）クラス>

第7期末（2024年6月28日（償還日））	
1口当たり純資産価格	9.21米ドル
純資産総額	1,153,455.52米ドル
第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））	
騰落率	-1.6%
1口当たり分配金額	1.26米ドル

<円（年2回）クラス>

第7期末（2024年6月28日（償還日））	
1口当たり純資産価格	8,678円
純資産総額	53,862,737円
第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））	
騰落率	-5.8%
1口当たり分配金額	818円

(注1) 第7期末の純資産総額および1口当たり総資産価格は、償還金として受益者のみなさまにお支払いする金額の負債計上前の数値であり、かかる金額を負債計上して算出されている財務書類の数値とは異なります。以下同じです。

(注2) 騰落率は、税引き前の分配金を再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

<その他記載事項>

償還運用報告書（全体版）は代行協会のホームページ：
<https://www.sc.mufg.jp/products/trust/index.html>
「外国投資信託運用報告書」にて電磁的方法により提供しております。

書面でのファンドの償還運用報告書（全体版）は受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■管理会社

UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド
（UBS Management (Cayman) Limited）

UBSユニバーサル・トラスト

（ケイマン）Ⅲー

東京海上・
CATボンド・ファンド
米ドル（年2回）クラス/
円（年2回）クラス

ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託

償還交付運用報告書

作成対象期間

第7期(2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲー東京海上・CATボンド・ファンド（以下「ファンド」といいます。）は、2024年6月28日に繰上償還いたしました。

ここに運用状況と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

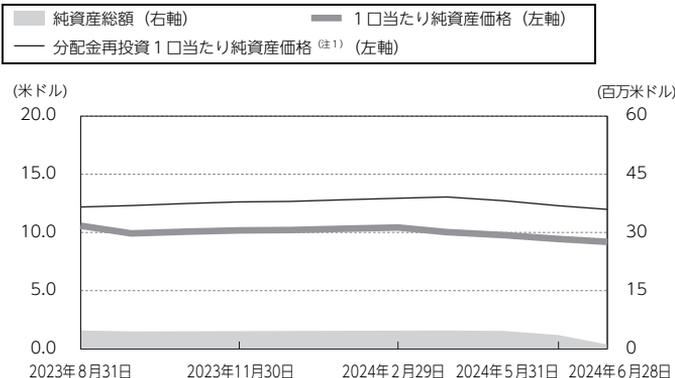
■代行協会

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

運用経過

■当期の1口当たり純資産価格等の推移 (2023年9月1日から2024年6月28日 (償還日) まで)

<米ドル (年2回) クラス>

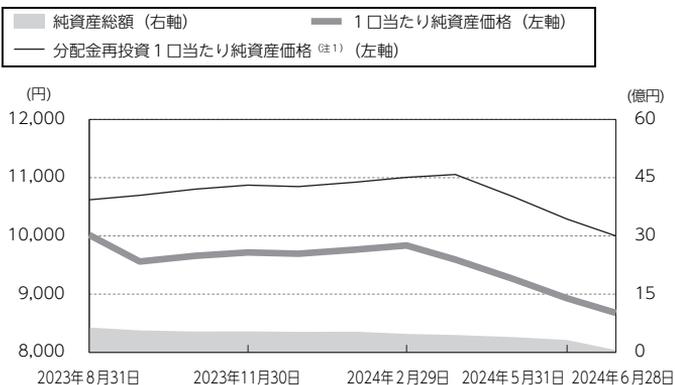


1口当たり純資産価格	
第6期末 (1口当たり分配金額)	10.58米ドル (分配金額: 0.68米ドル)
第7期末 (1口当たり分配金額)	9.21米ドル (分配金額: 1.26米ドル)
騰落率	-1.6%

1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因	■保有していたCATボンドからの利息収入
下落要因	■需給環境悪化局面での資金流出対応

<円 (年2回) クラス>



1口当たり純資産価格	
第6期末 (1口当たり分配金額)	10,017円 (分配金額: 148円)
第7期末 (1口当たり分配金額)	8,678円 (分配金額: 818円)
騰落率	-5.8%

1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因	■保有していたCATボンドからの利息収入
下落要因	■需給環境悪化局面での資金流出対応 ■為替ヘッジなどのコスト

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引き前の分配金をファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。また、分配金再投資1口当たり純資産価格は、受益証券1口当たりの当初発行価格(米ドル(年2回)クラス: 10.0米ドル、円(年2回)クラス: 10,000円)を起点として計算しています。以下同じです。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■費用の明細

項目	項目の概要 (注1)	
管理報酬等 (注2)		
報酬代行会社報酬	年率0.12% (注3)	管理会社報酬等の支払い代行業務の対価
管理会社報酬	年間5,000米ドル (注3)	ファンドの資産の運用・管理、受益証券の発行・買戻し業務の対価
受託会社報酬	年間10,000米ドル	ファンドの受託業務の対価
投資運用会社報酬	年率0.70% (このうちファンドの純資産総額の年率0.50%が副投資運用会社報酬として副投資運用会社に支払われます。)	ファンドに関する資産運用業務および管理会社代行サービス業務の対価
保管会社報酬	年率0.02% (ユーロ市場) (注4) 年率0.01% (米国市場) (注4)	ファンドの資産の保管業務の対価
管理事務代行報酬	年率0.08% (注5) +年間8,400米ドル (注6) +年間20,000米ドル (注7)	ファンドの登録・名義書換代行業務、管理事務代行業務の対価
販売報酬	年率0.60%	受益証券の販売・買戻し業務、運用報告書等各種書類の送付、販売会社における受益者の口座内でのファンドの管理の対価
代行協会員報酬	年率0.05%	ファンド証券の(1口当たりの)純資産価格の公表業務、目論見書、決算報告書等の販売会社への交付業務等の対価
その他の費用・手数料 (注8)	6.02%	上記の報酬の他、設立費用(3会計年度にて償却)、監査報酬、目論見書の印刷費用、信託財産の処理に関する費用、設定後の法務関連費用、信託財産に係る租税等

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率(金額)を記しています。

(注2) 管理報酬等の総報酬は、純資産総額の最大年率1.57%程度および年間38,400米ドルです。

(注3) 管理会社報酬は年間5,000米ドルであり、年率0.12%の報酬代行会社報酬から支弁されます。

(注4) 各市場での保有資産の評価額に対しての年率。保管会社報酬は最低年間12,000米ドルです。保管会社報酬には最低報酬金額が設定されているため、純資産総額によっては、管理報酬等の総額を上回ることになります。

(注5) 管理事務代行報酬は最低年額65,000米ドル(固定報酬)です。管理事務代行報酬には最低報酬金額が設定されているため、純資産総額によっては、管理報酬等の総額を上回るようになります。

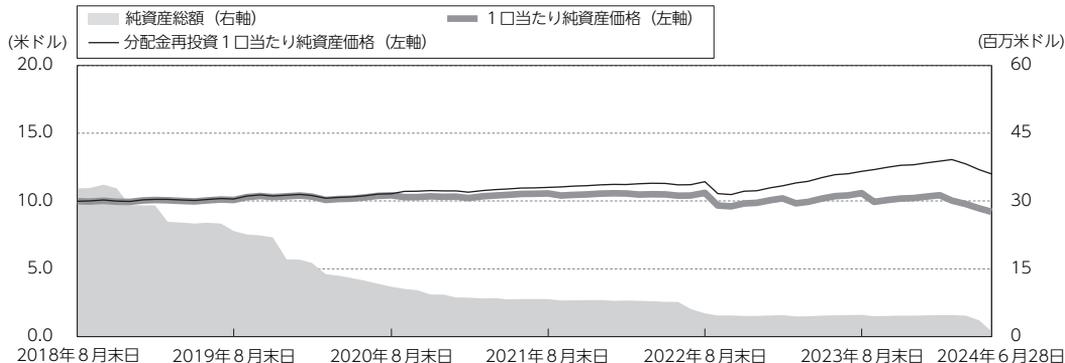
(注6) 登録・名簿書換代行業務に対する報酬として、1ヶ月当たり350米ドル(年間4,200米ドル)に受益証券が発行されているクラスの数(現時点では2クラス)を乗じた額がかかります。

(注7) 複数のクラスを管理する報酬として、年間10,000米ドルに受益証券が発行されているクラスの数(現時点では2クラス)を乗じた額がかかります。

(注8) 「その他の費用・手数料(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

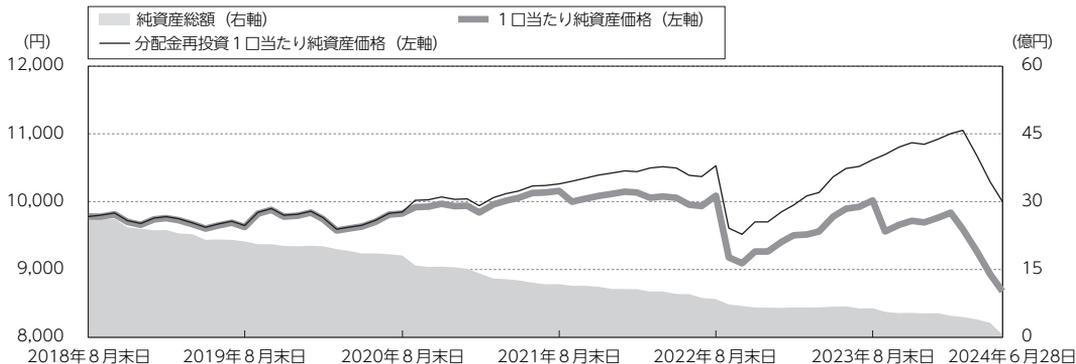
■最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

<米ドル (年2回) クラス>



	第1期末 (2018年8月31日)	第2期末 (2019年8月31日)	第3期末 (2020年8月31日)	第4期末 (2021年8月31日)	第5期末 (2022年8月31日)	第6期末 (2023年8月31日)	第7期末 (2024年6月28日 (償還日))
1口当たり純資産価格 (米ドル)	9.98	10.07	10.41	10.56	10.61	10.58	9.21
1口当たり分配金額 (米ドル)	0	0.07	0.05	0.30	0.35	0.68	1.26
騰落率 (%)	-	1.6	3.9	4.4	3.9	6.7	-1.6
純資産総額 (百万米ドル)	32.80	23.36	11.05	8.31	5.13	4.80	1.15

<円 (年2回) クラス>



	第1期末 (2018年8月31日)	第2期末 (2019年8月31日)	第3期末 (2020年8月31日)	第4期末 (2021年8月31日)	第5期末 (2022年8月31日)	第6期末 (2023年8月31日)	第7期末 (2024年6月28日 (償還日))
1口当たり純資産価格 (円)	9,780	9,626	9,825	10,158	10,088	10,017	8,678
1口当たり分配金額 (円)	0	20	0	80	330	148	818
騰落率 (%)	-	-1.4	2.1	4.2	2.6	0.9	-5.8
純資産総額 (億円)	26.75	21.20	18.08	11.74	8.40	6.40	0.53

(注1) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

(注2) 第7期末は、償還日である2024年6月28日時点の数値を記載しています。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

<米ドル（年2回）クラス>

設定日（2017年9月28日）～第6期（2023年8月31日）

上昇要因	■ 保有していたCAT債券からの利息収入 ■ CAT債券市場の好需給を背景とする価格上昇
下落要因	■ ハリケーン・イアンの影響による市場価格下落 ■ 過去に発生したリスクイベントの保険損失の積み上がりにより一部の累積型CAT債券が毀損したこと

第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））

上昇要因	■ 保有していたCAT債券からの利息収入
下落要因	■ 需給環境悪化局面での資金流出対応

<円（年2回）クラス>

設定日（2017年9月28日）～第6期（2023年8月31日）

上昇要因	■ 保有していたCAT債券からの利息収入 ■ CAT債券市場の好需給を背景とする価格上昇
下落要因	■ ハリケーン・イアンの影響による市場価格下落 ■ 過去に発生したリスクイベントの保険損失の積み上がりにより一部の累積型CAT債券が毀損したこと ■ 為替ヘッジなどのコスト

第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））

上昇要因	■ 保有していたCAT債券からの利息収入
下落要因	■ 需給環境悪化局面での資金流出対応 ■ 為替ヘッジなどのコスト

■投資環境について

第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））

当期は、前期から引き続き2022年9月末に米国フロリダ州で発生したハリケーン「イアン」の影響を受けて、パフォーマンスが悪化した米国水害を対象とする銘柄や、フロリダ州の風水害を対象とする銘柄の市場価格が回復しました。その他、米国では多数のサンダーストームやハリケーン、欧州でも洪水など自然災害が多発しましたが、これらの被害によるCAT債券市場への影響は限定的なものにとどまりました。

期初から期中にかけては投資家の潤沢な余剰資金を背景にCAT債券市場の需給環境は良好となり、CAT債券に価格上昇圧力がかかりました。その後、CAT債券市場は大型発行案件が重なるなど、新発債の発行が非常に活発となり、一時的に需給環境が悪化する局面もありましたが、2024年6月に入ると新発債の発行も一段落し、需給環境は徐々に均衡を取り戻しました。

■ポートフォリオについて

第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））

リスクの種類（地震・ハリケーン等）や地域などの分散を考慮しながら、保有銘柄の償還に対応するために新規発行銘柄を中心に購入しました。ハリケーン「イアン」関連銘柄の市場価格の回復やCAT債券市場の良好な需給環境に伴う価格上昇、安定的な利息収入がプラス要因となりました。一方、需給環境が一時的に悪化する局面で、資金流出対応のために割安な価格でCAT債券の売却をせざるを得なかったことが大きなマイナス要因となったため、1口当たり純資産価格（税引前分配金再投資）は米ドルクラス、円クラスとも下落しました。

■ベンチマークとの差異について

ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■分配金について

第7期（2023年9月1日～2024年6月28日（償還日））の1口当たり分配金（税引前）は下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル（年2回）クラス

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率(%) ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2023年9月29日	9.93	0.76 (7.11)	0.86
2024年3月28日	10.03	0.50 (4.75)	0.60

円（年2回）クラス

（金額：円）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率(%) ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2023年9月29日	9,560	529 (5.24)	575
2024年3月28日	9,592	289 (2.92)	321

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率(}\%) = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2023年9月29日の直前の分配落日（2023年3月31日）における1口当たり純資産価格は、米ドル（年2回）クラスが9.83米ドル、円（年2回）クラスが9,514円でした。

お知らせ

ファンドは、2024年6月28日に償還しました。

ファンドの概要

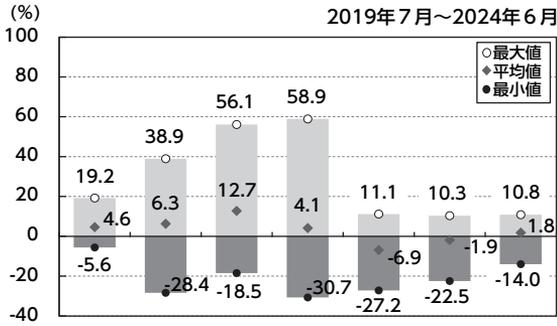
ファンド形態	ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型外国投資信託
信託期間	2017年9月28日～2024年6月28日（償還日）
運用方針	保険リンク証券のうち主としてCATボンドに投資することで、インカムゲインの獲得を目指した運用を行いました。
主要投資対象	世界のCATボンド、CATボンド以外の保険リンク証券、保険デリバティブ・リンク債券を実質的な主要投資対象としました。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●CATボンド関連の市場分析、個別銘柄の分析（リスクの種類（地震・ハリケーン等）、地域およびスプレッド水準など）等を勘案して、ポートフォリオの構築を行いました。●日本関連のリスクを極力排除するように運用を行いました。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">●日本証券業協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債権等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ35%、合計で35%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、日本証券業協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行いました。●原則として、ファンドの純資産総額の10%を超える借入は行いませんでした。
分配方針	原則として、インカム等収益および売買益等から、管理会社が1口当たり純資産価格の水準等を勘案して分配を行いました。

参考情報

ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

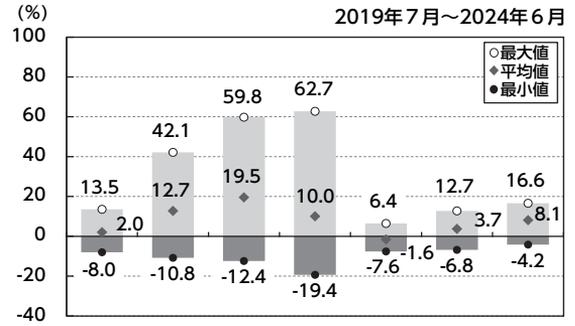
2019年7月～2024年6月の5年間に於ける年間騰落率（各月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと他の代表的な資産クラスとの間で比較したものです。このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成しております。

<米ドル（年2回）クラス>



当ファンド 日本株 先進国株 新興国株 日本国債 先進国債 新興国債

<円（年2回）クラス>



当ファンド 日本株 先進国株 新興国株 日本国債 先進国債 新興国債

（ご注意）

- ※米ドル（年2回）クラスの年間騰落率は、基準通貨である米ドル建てで計算されています。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
- ※ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）
- ※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数について>

- 日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込）
- 先進国株……………MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込）
（米ドルベース）
- 新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）
（米ドルベース）
- 日本国債……………FTSE日本国債インデックス（米ドルベース）
- 先進国債……………FTSE世界先進国債インデックス（米ドルベース）
- 新興国債……………FTSE新興国市場国債インデックス
（米ドルベース）
- ※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。
- ※日本国債・先進国債・新興国債の各指数は、2019年7月～2024年6月分から上記のとおり変更しています。

（ご注意）

- ※ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）
- ※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数について>

- 日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込）
- 先進国株……………MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込）
（円ベース）
- 新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）
（円ベース）
- 日本国債……………FTSE日本国債インデックス（円ベース）
- 先進国債……………FTSE世界先進国債インデックス（円ベース）
- 新興国債……………FTSE新興国市場国債インデックス（円ベース）
- ※日本国債・先進国債・新興国債の各指数は、2019年7月～2024年6月分から上記のとおり変更しています。
- ※上記指数は、FactSet Research Systems Inc（FactSet Research Systems Inc.は、東証株価指数（TOPIX）（配当込）を株式会社JPX総研から、MSCI-KOKUSAIインデックス（配当

※上記指数は、FactSet Research Systems Inc (FactSet Research Systems Inc.は、東証株価指数 (TOPIX) (配当込) を株式会社JPX総研から、MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込) (米ドルベース) をMSCI INC. から、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース) をMSCI INC. から、FTSE日本国債インデックス (米ドルベース) をFTSE Russellから、FTSE世界先進国債インデックス (米ドルベース) をFTSE Russellから、FTSE新興国市場国債インデックス (米ドルベース) をFTSE Russellから、それぞれ取得しているとのことです。なお、各指数に係る著作権、知的財産等の一切の権利は当該指数開発者等に帰属しております。) より取得しています。ファンドおよびUBSは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、その騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

込) (円ベース) をMSCI INC. から、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース) をMSCI INC. から、FTSE日本国債インデックス (円ベース) をFTSE Russellから、FTSE世界先進国債インデックス (円ベース) をFTSE Russellから、FTSE新興国市場国債インデックス (円ベース) をFTSE Russellから、それぞれ取得しているとのことです。なお、各指数に係る著作権、知的財産等の一切の権利は当該指数開発者等に帰属しております。) より取得しています。ファンドおよびUBSは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、その騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

■ファンドの組入資産の内容

(2024年6月28日(償還日)現在)

有価証券等の組入れはありません。

■純資産等

<米ドル(年2回)クラス>

項目	第7期末
純資産総額	1,153,455.52米ドル
発行済み口数	125,269.341口
1口当たり純資産価格	9.21米ドル

第7期		
販売口数	買戻口数	発行済み口数
20,261.385	349,209.425	125,269.341
(20,261.385)	(349,209.425)	(125,269.341)

<円(年2回)クラス>

項目	第7期末
純資産総額	53,862,737円
発行済み口数	6,206.950口
1口当たり純資産価格	8,678円

第7期		
販売口数	買戻口数	発行済み口数
0	57,653.501	6,206.950
(0)	(57,653.501)	(6,206.950)

(注) () の数字は本邦内における販売、買戻しおよび発行済み口数です。